

令和2年度 大分県非鉄金属製造業

最低賃金専門部会

1 日時 令和2年10月2日(金)午後1時30分～

2 場所 ソフィアプラザビル 2階会議室
(大分市東春日町17番19号)

3 出席委員(敬称略)

公益代表:城戸 照子、清田 透、清水 立茂

労働者代表:浅見 陽央、川野 敦司、姫野 琢哉

使用者代表:池辺 明文、志水 文彦、中島 英司

大分労働局:岡本 労働基準部長、幡手 賃金室長、金丸 室長補佐

4 議 題

(1) 金額審議について

(2) その他

5 議事要旨

(1) 金額審議について

ア 事務局より資料の説明を行ったのち、協議を開始した。

イ 協議方式について

公労使が別室に分かれ、労使が個別に公益と協議し、金額審議を進めていき、その後全委員が集まり意見集約する方法とした。

ウ 協議要旨

労側委員からは、直近の景況等生産活動に持ち直しの動きがあること、他の産業に比べ非鉄金属のコロナ禍の影響は小さかったこと、公正競争・労働人口流出防止の観点から若年層の時間額を上げる必要があることなどの説明を踏まえた上で金額提示があった。

使側委員からは、銅の原産地の稼働率低下や銅の価格変動が大きいこと等先行きが不透明であること、コロナ禍の今後の影響について判断がつかないこと、非鉄金属製造業全体の経営状況などの説明を踏まえた上で金額提示があった。

カ 協議結果

意見の隔たりが大きく結論をまとめるまでには至らなかった。

(2) その他

次回の専門部会は、10月19日(水)午前10時から開催することとなった。